



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月30日

上場会社名 日東富士製粉株式会社
 コード番号 2003
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所

東

URL <https://www.nittofuji.co.jp>

(氏名) 藤田 佳久

(氏名) 坂田 喜章

(TEL) 03-3553-8781

配当支払開始予定日

—

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	13,615	△3.3	1,073	△15.4	1,243	△8.1	878	△9.3
2020年3月期第1四半期	14,074	6.8	1,268	37.5	1,353	32.4	969	36.1

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,211百万円(70.1%) 2020年3月期第1四半期 712百万円(△23.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	191.93	—
2020年3月期第1四半期	211.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	49,337	37,546	76.0
2020年3月期	49,541	36,867	74.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 37,493百万円 2020年3月期 36,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	106.00	—	116.00	222.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	86.00	—	111.00	197.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	28,000	0.2	1,700	△21.7	1,900	△17.9	1,300	△19.3	283.92
通期	58,000	0.8	3,900	△14.6	4,300	△13.5	3,000	△11.4	655.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	4,692,364株	2020年3月期	4,692,364株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	113,910株	2020年3月期	113,820株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	4,578,485株	2020年3月期1Q	4,578,756株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「添付資料」3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、中期経営計画「Next Future 2020」を策定し、事業戦略として「新しい市場へ」「新しい商品へ」「新しい分野へ」を掲げ、特色ある製品の開発や、美味しさと健康を基軸とした商品開発に取り組んでおります。

当社グループの第1四半期の業績につきましては、昨年中に二度にわたって行われた外国産小麦の政府売渡価格の引き下げを反映し製品価格が低位にとどまった影響で、売上高は136億1千5百万円（前年同期比 3.3%減）となりました。利益面でも、新型コロナウイルス感染症の影響による製粉及び食品事業での減益を外食・運送事業ではカバーしきれず、経常利益は12億4千3百万円（前年同期比8.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益8億7千8百万円（前年同期比9.3%減）となりました。

(前年同期間比)

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	14,074	13,615	△459	△3.3%
営業利益	1,268	1,073	△195	△15.4%
経常利益	1,353	1,243	△110	△8.1%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	969	878	△90	△9.3%

〔セグメント別営業概況〕

① 製粉及び食品事業

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	12,227	11,531	△696	△5.7%
営業利益	1,205	953	△251	△20.9%

「製粉及び食品事業」につきましては、小麦粉の販売数量が昨年に比べ若干減少したことや、昨年に実施された外国産小麦価格改定の影響もあり、売上高は前年同期比5.7%減の115億3千1百万円となりました。営業利益につきましては、外食向け小麦粉の販売が低調に推移し、9億5千3百万円（前年同期比20.9%減）となりました。

なお、本年4月に外国産小麦の政府売渡価格が平均 3.1%引き上げられたことに伴い、当社においても6月20日納品分より小麦粉製品の価格を改定しております。

② 外食事業

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	1,808	2,048	239	13.2%
営業利益	17	59	42	249.8%

「外食事業」の㈱さわやか（当連結対象期間1月～3月）につきましては、主力のケンタッキーフライドチキン店のテイクアウト等による販売が好調だったことにより、売上高は前年同期比13.2%増加し20億4千8百万円となりました。営業利益は、人件費やフードコストが増加しましたが、増収に伴う売上総利益の増加により、5千9百万円（前年同期比249.8%増）となりました。

③ 運送事業

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	509	498	△11	△2.3%
営業利益	38	51	13	34.3%

「運送事業」の日東富士運輸㈱につきましては、売上高は、前年同期比 2.3%減少し4億9千8百万円となりました。営業利益は、燃料費が低水準に推移したことや、配送の効率化を行ったことにより、5千1百万円（前年同期比 34.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	2020年3月期	2020年6月期	比較
流動資産	24,382	23,798	△584
固定資産	25,158	25,538	379
資産計	49,541	49,337	△204
流動負債	9,234	8,129	△1,104
固定負債	3,440	3,661	220
負債計	12,674	11,790	△884
純資産	36,867	37,546	679
負債・純資産計	49,541	49,337	△204

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況は以下のとおりです。

当第1四半期連結会計期間末の当社グループの総資産は、前連結会計年度末に比べ2億4百万円減少し、493億3千7百万円になりました。

流動資産は237億9千8百万円で、原材料及び貯蔵品等が増加した一方、短期貸付金（キャッシュ・マネジメント・システムによる実質的な現金及び現金同等物）が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ5億8千4百万円減少しました。固定資産は255億3千8百万円で、投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ3億7千9百万円増加しました。この結果、資産合計は493億3千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億4百万円減少しました。

流動負債は81億2千9百万円で、未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末に比べ11億4百万円減少しました。固定負債は36億6千1百万円で、繰延税金負債の増加等により、前連結会計年度末に比べ2億2千万円増加しました。この結果、負債合計は117億9千万円となり、前連結会計年度末に比べ8億8千4百万円減少しました。

純資産は利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ6億7千9百万円増加し、375億4千6百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.7%増加して76.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、2020年度を最終年度とする中期経営計画「Next Future 2020」において、事業戦略として「新しい市場へ」「新しい商品へ」「新しい分野へ」を掲げ、特色ある製品の開発や、美味しさと健康を基軸とした商品開発に取り組んでおります。

「製粉及び食品事業」につきましては、国内市場は少子高齢化や、人口減少による需要の後退が販売競争を一段と激化させており、価格競争力の一段の強化等が喫緊の課題となっております。

「外食事業」では、業界内での競争激化と消費者の節約志向が続くなか、各店舗に合わせた効果的な事業運営が必要とされています。また、消費者の食の安全・安心に対する意識も一段と高まっており、これに応える店舗運営にも注力してまいります。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響等により、当社グループを取り巻く環境は大きく変化していますが、「原料調達・製造・販売・開発・物流」が一体となり、徹底した効率の追求と競争力の強化に取り組むとともに、三菱商事グループ各社との連携強化や、㈱増田製粉所との開発・営業面でのシナジー効果をさらに増加させることにより、この変化を業績拡大へ繋げるべく最大限努力してまいります。さらに、海外戦略として、ベトナムの子会社(NITTO-FUJI INTERNATIONAL VIETNAM CO., LTD.)及びタイの子会社(Nitto Fuji International (Thailand) Co., Ltd.)を通じてアジア地域での事業拡大にも努めてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,285	1,343
受取手形及び売掛金	7,623	7,335
商品及び製品	2,335	2,385
原材料及び貯蔵品	5,184	6,115
短期貸付金	7,348	5,951
未収還付法人税等	5	0
その他	605	670
貸倒引当金	△5	△3
流動資産合計	24,382	23,798
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,205	5,195
機械装置及び運搬具(純額)	3,329	3,240
土地	4,836	4,839
その他(純額)	468	485
有形固定資産合計	13,840	13,760
無形固定資産		
のれん	81	76
その他	528	522
無形固定資産合計	610	598
投資その他の資産		
投資有価証券	8,051	8,500
退職給付に係る資産	1,559	1,529
繰延税金資産	161	113
その他	991	1,094
貸倒引当金	△56	△58
投資その他の資産合計	10,708	11,179
固定資産合計	25,158	25,538
資産合計	49,541	49,337

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,788	4,782
短期借入金	500	500
1年内返済予定の長期借入金	252	168
リース債務	0	0
未払法人税等	643	186
賞与引当金	576	227
役員賞与引当金	46	8
その他	2,426	2,255
流動負債合計	9,234	8,129
固定負債		
繰延税金負債	2,427	2,663
役員退職慰労引当金	77	68
退職給付に係る負債	307	312
資産除去債務	430	430
リース債務	4	4
その他	193	181
固定負債合計	3,440	3,661
負債合計	12,674	11,790
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,500	2,500
資本剰余金	4,049	4,049
利益剰余金	27,153	27,501
自己株式	△292	△292
株主資本合計	33,410	33,757
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,625	3,934
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△1	7
退職給付に係る調整累計額	△219	△206
その他の包括利益累計額合計	3,404	3,735
非支配株主持分	51	53
純資産合計	36,867	37,546
負債純資産合計	49,541	49,337

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	14,074	13,615
売上原価	10,453	10,204
売上総利益	3,621	3,410
販売費及び一般管理費		
販売手数料	139	145
販売運賃	603	603
貸倒引当金繰入額	△1	0
給料及び手当	510	527
賞与引当金繰入額	107	106
役員賞与引当金繰入額	7	8
退職給付費用	20	36
役員退職慰労引当金繰入額	3	4
のれん償却額	4	5
その他	956	896
販売費及び一般管理費合計	2,352	2,336
営業利益	1,268	1,073
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	64	59
固定資産賃貸料	14	88
その他	14	27
営業外収益合計	95	176
営業外費用		
支払利息	1	0
為替差損	2	0
海外子会社駐在員に係る源泉所得税負担額	2	2
その他	4	2
営業外費用合計	10	6
経常利益	1,353	1,243
特別利益		
固定資産売却益	0	—
受取保険金	—	45
特別利益合計	0	45
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	5	8
減損損失	—	2
投資有価証券評価損	0	0
特別損失合計	6	11
税金等調整前四半期純利益	1,348	1,277
法人税、住民税及び事業税	249	253
法人税等調整額	126	141
法人税等合計	376	395
四半期純利益	972	881
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	969	878
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	3

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△256	309
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	2	7
退職給付に係る調整額	△5	13
その他の包括利益合計	△260	329
四半期包括利益	712	1,211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	709	1,209
非支配株主に係る四半期包括利益	3	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響について、収束時期等を予測することは困難ではありますが、当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績等に与えた影響は軽微と判断しております。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合等、今後の状況変化により、将来の連結財務諸表に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結財務諸表計上額
	製粉及び食品事業	外食事業	運送事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,224	1,808	41	14,074	—	14,074
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	0	468	471	△471	—
計	12,227	1,808	509	14,546	△471	14,074
セグメント利益	1,205	17	38	1,260	8	1,268

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結財務諸表計上額
	製粉及び食品事業	外食事業	運送事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,529	2,048	37	13,615	—	13,615
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	0	460	463	△463	—
計	11,531	2,048	498	14,078	△463	13,615
セグメント利益	953	59	51	1,065	8	1,073

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「外食事業」セグメントにおいて、収益性が低下しており、将来キャッシュ・フローがマイナスと見込まれる店舗資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において2百万円であります。